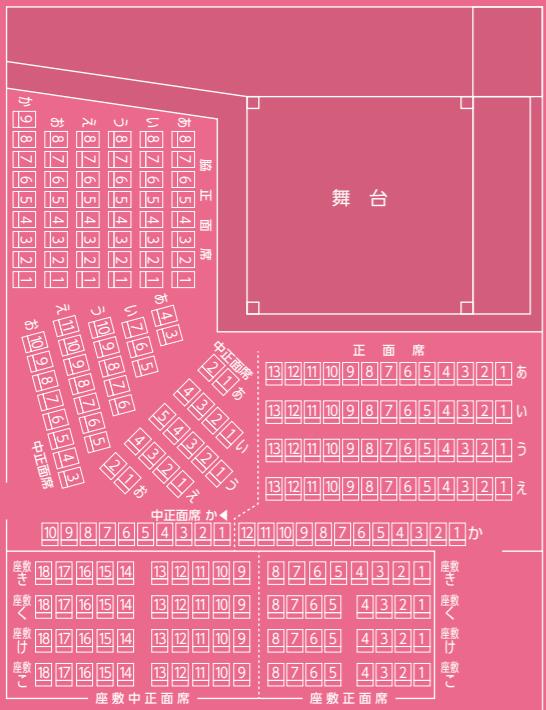


妖怪と精霊

としま能の会

矢来能楽堂 座席表



*「き」列は振り子たつ式座椅子席 *「く」「け」「こ」列は椅子席

チケット発売日

2025年12月1日(月)10:00~

全席指定(税込／昼夜入替制)

S席…正面席

A席…中正面席・脇正面席

一般	S席:4,800円	A席:4,300円
豊島区民割引	S席:4,500円	A席:4,000円
学生	S席:2,000円	A席:1,500円
昼夜通し	S席:8,800円	A席:7,800円

*未就学児入場不可。*学生券は公演当日25歳以下の方対象。(要学生証提示)

*豊島区民割引券・昼夜通し券は、としまチケットセンターでのみ取扱。

*車椅子でご来場の方は、事前にとしまチケットセンターへお問合せください。

- としまチケットセンター
WEB <https://www.s2-e-get.jp/tsm-mirai/pt/>
電話 0570-056-777(10:00~17:00 ※臨時休業あり)
窓口 豊島区東池袋1-20-10 としま区民センター1階
(10:00~19:00 ※臨時休業あり)
- イープラス
WEB <https://eplus.jp/sf/detail/4433130001-P0030001>
店頭 ファミリーマート



矢来能楽堂 新宿区矢来町60

▶ 東京メトロ東西線「神楽坂駅」2番出口(矢来口)より徒歩2分
▶ 都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂駅」A1出口より徒歩5分

主催: 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
(公益財団法人としま未来文化財団 設立40周年記念事業)



お問い合わせ

公益財団法人としま未来文化財団 事業企画グループ

TEL: 03-3590-7118(平日10:00~17:00)

*開演後にご来場いただいた場合は、客席への案内できない時間帯がございます。

*やむを得ない事情により、イベントの中止または内容の変更が生じる場合がございます。

イラストレーション ©すり館

公益財団法人
としま未来文化財団
設立40周年記念事業

第36回 としま能の会

精霊



イラストレーション ©すり館

2026
3/1
日

昼の部 13:00 開演

夜の部 17:00 開演

(昼夜入替制／開場は各開演の30分前)

妖怪



矢来能楽堂

主催: 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区

			解説
	蟹狂言	山伏	解説
休憩	鞍馬天狗	山伏	説
15分	シテ／山伏・大天狗 子方／牛若丸 子方／花見稚兒 ワキ／鞍馬寺の僧 ワキツレ／従僧 アイ／能力 アイ／木葉天狗	シテ／山伏 アド／蟹の精 後見	鈴木啓吾
地謡	坂観世喜正 豊島区内在住・在学の小学生 賀子	野村万之丞 石井康太 河野佑紀	17時00分開演
後見	太鼓 大鼓 小鼓 笛	野村拳之介 野村萬藏 杉信太郎 岡本はる奈 原岡一之 梶谷英樹 駒瀬英樹 奥川恒也 永島直也	野村拳之介
後見	奥川恒也 永島直也	野村拳之介 野村萬藏 杉信太郎 岡本はる奈 原岡一之 梶谷英樹 駒瀬英樹 奥川恒也 永島直也	16時30分開場
地謡	奥川恒也 永島直也	野村拳之介 野村萬藏 杉信太郎 岡本はる奈 原岡一之 梶谷英樹 駒瀬英樹 奥川恒也 永島直也	16時30分開場
19時00分頃終演予定			



台旨 「鞍馬天狗」は、牛若丸と鞍馬の大天狗との出会いを描いた作品。子方（子役）が演じる牛若丸との対比で、大天狗のスケールの大きさが際立ちます。花見稚児役として、一般から選ばれ稽古を積んだ豊島区内在住・在学の小学生も出演。花見の風情と大天狗の雄大な舞によって、財団設立40周年を寿ぎます。

江言「蟹」

滑稽な動きの数々にご注目ください。としま能の会では今回が初上演となります。この機会をお見逃しなく！

			解説部
		狂言	
	休憩	相撲	
	殺生白頭石	蚊	
15時00分頃終演予定	15分	15分	13時00分開演
	シテ／玉藻前 ワキ／玄翁和尚 アイ／能力	シテ／大名 アド／太郎冠者 小アド／蚊の精	観世喜正
	地謡 後見 太鼓 大鼓 小鼓 箕笛	後見	
小島英明 中森健之介	筒井陽子 中森真太郎	坂遠藤弘田梶谷柿原幸信 杉野村眞之介	野村万之丞 野村拳之介
中所宣宜	中木貫太	喜久裕一 英樹光博 吾信吾	能弘信太朗 佐紀
	鈴木啓吾		



狂言「蚊相撲」には蚊の精が登場し、大名と相撲をることに。狂言ならではの所作と扮装によって、蚊の特徴が見事に表現されています。蚊の精がどのような動きを見せるのか、そして大名はどのような対抗策を講じるのか、その攻防をお楽しみください。としま能の会では第1回以来の上演となります。

「殺生石」は、妖狐として有名な玉藻前の伝説に由来する作品。前半は妖しい静けさの中で物語が進みますが、後半は一転して激しい狐狩りの様子が描かれます。舞台上に置かれた作り物の石が割れ、中から玉藻前が再登場する場面は必見！ 今回は「白頭」の小書（特殊演出）で上演します。通常演出とは異なる白頭ならではの神秘的な姿を、ぜひご覧ください。